
オレオレ Lua L^AT_EX テンプレートの使い方

易 翠衡 (@yicuiheng)
2021/5/24

1 ビルド方法

ビルドには `llmk` ^{*1} を使っています。 `llmk` のおかげで \LaTeX コードのビルド手順を TOML 形式で記述することができます。その他にもなんか色々デフォルトの設定をモダンなかんじにしてくれてます。 \LaTeX に詳しくない筆者は取り敢えず `llmk` を使って \LaTeX 詳しい人が選んだモダンな設定におまかせしています。

このプロジェクトをビルドするにはプロジェクトディレクトリで

```
$ llmk
```

を実行してください。 `llmk` が `./llmk.toml` に基づいて `./main.tex` をコンパイルしてくれます。うまくいけば `./build/main.pdf` が生成されるはずです。

2 ディレクトリ構成

./	
├── .vscode VSCode の設定
├── build 生成物が置かれる場所
│ ├── main.pdf メインの生成物
│ └──	
├── src \LaTeX ソースコードを置く場所
│ ├── title.tex 表紙の \LaTeX ソースコード
│ └──	
├── style スタイルファイルを置く場所
│ ├── common.sty 普遍的に使うマクロやフォントの設定
│ └──	
├── llmk.toml ビルドの設定ファイル
├── main.tex トップレベルの \LaTeX ソースコード
└── main.bib 参考文献データ

3 フォントなど

地の文には UD デジタル教科書体を使っています。

あのイーハトーヴォのすきとおった風、夏でも底に冷たさをもつ青いそら、うつくしい森で飾られたモリーオ市、郊外のぎらぎらひかる草の波。

——宮沢賢治『ポラーノの広場』より——

The quick brown fox jumps over the lazy dog

数式には STIX2 フォントを使っています。

^{*1} <https://github.com/wtsnjp/llmk>

$$\int_0^{\pi} \sin x \, dx = 2 \quad (1)$$

$$\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^2} = \frac{\pi^2}{6} \quad (2)$$

プログラムのフォントには `inconsolata` を使っています.

インラインコードの例: `hoge + fuga = piyo`

複数行にまたがるコードの例:

```
</>  bash
```

```
1  fun main() {
2      let a = 12
3      let b = 30
4      a + b
5  }
```

中間値の定理

区間 $[\alpha, \beta]$ で連続な関数 $f(x)$ について, $f(\alpha)$ と $f(\beta)$ の間にある任意の実数 c に対して, ある実数 $k \in (\alpha, \beta)$ を $f(k) = c$ を満たすようにとることができる

中間値の定理

区間 $[\alpha, \beta]$ で連続な関数 $f(x)$ について, $f(\alpha)$ と $f(\beta)$ の間にある任意の実数 c に対して, ある実数 $k \in (\alpha, \beta)$ を $f(k) = c$ を満たすようにとることができる

中間値の定理

区間 $[\alpha, \beta]$ で連続な関数 $f(x)$ について, $f(\alpha)$ と $f(\beta)$ の間にある任意の実数 c に対して, ある実数 $k \in (\alpha, \beta)$ を $f(k) = c$ を満たすようにとることができる